

伯和西爾時報

政府施設事項

(上)

移民獎勵に必要な

日本から的情報に據ると、山科長は、二百有餘の組合員を有する南米企業組合は、昨年から今年に懸けて、海外移植民に理解を有する加藤首相の肝煎で、大部分が實行の方に進んでいたが、それが八月下旬の首相長選で一順挫を來し、月九月初めの大震災と内閣交迭で更に大打撃を被り、今では全く掛を失して更に船の如に、何處に何うして航つけるか、此處暫く立往生の姿である云ふ事である。

然し君共をして言はしむれば、單に金儲の爲めの南米企業であり、單に餘った金の外國投資であるなら

大災禍が突發して其復興に非常な大打撃を受けり、今では全く掛を失して更に

つた船の如に、何處に何うして航つけるか、此處暫く立往生の姿である。

NOTÍCIAS DO BRAZIL

Publicado semanalmente

Rua Fagundes N. 18.

Caixa Postal N.

Telé. Central, 5505

S. Paulo, Brazil

Proprietário e editor

Seisaku Kuroishi

Assinaturas

Por Anno 185000

Semestre 050000

Mês 15000

Semana 5000

Habemus

割合に早く復活される帝都文壇

▼ 日 本 近 信 ▲

雑誌界の興廢

震災史編纂請願

何十萬といふ失業者を出した震災は、有する二十一萬六千百十二戸の住民

文壇方面にも可なり甚大な影響を與へる。

兎も角文壇は文藝熱の絶頂に達した黄金時代にあつたことを、そこでその打撃も大きい。五年十年の後でなくして到底復活しないと見て、早くも部落を計畫し實行した者があつたが、

目前に迫った十月號雑誌の概況を見るに大部分は發行され文壇の復活も案外近いにあることを思はせる。

中央公論、改造、新潮、文章俱樂部、太陽、その他文館の諸雑誌、雑誌社の諸雑誌、婦人雑誌では婦人公論、婦女界、主婦の友、婦人世界は殆ど中止せたやうに震災記念號を發行し、春陽堂の新小説、大鎧開の解放はいつ發行されるか未定、早稻田文學は編輯所の本間久雄氏方は無事だつたが出資者の東京堂が全焼した爲め本年一杯は歸省闘退の意志を持つてゐる、なほこの外、二流三流の文體刊、來春を待つて復活發刊する豫定だ。なほ菊池寛氏の主宰する文藝春秋は大阪毎日がその印刷を授け、近く同地で發刊される又文庫復讐岐に歸省闘退の意志を持つてゐる、なほこの外、二流三流の文士で部落をし地方新聞の記者に早變りしたものも可なりある模様であるが兎も角も文藝界の黄金時代に際して極度に擴張された彼等の生活はこれが機會にぐつと引摺られ更に文藝創作方面に於ては從來の浮薄な態度を排してはじめて傾向のものが迎へられるだらうと潤滑されてゐる、尙ほ震災以來仕事なく生活に困つてゐる文士連は東京市に震災歴史を編纂するやうに、そして其際は自分等を雇用されたいと請願した。

横濱市戸籍原簿燒失で

横濱市戸籍原簿燒失で</

小鳥と私

(中)

PLA-NET

創

作

未

高

翔

け

ま

る

程

の

准

備

は

た

其

處

ら

の

う

探

し

て

も

見

當

ら

し

て

か

し

ら

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

見

當

に

日曜会 第三三百二十號 伯時大正十二年十一月廿三日

ESTADISTA MACHESSE	58000	Ernesto Antonio do Salto	28000	Romualdo de Oliveira	58000	M. Br.
Cecília Quinteiro	48000	Eugenio Longatto	18000	Silva Oliveira	58000	Anton.
Odition de Queiroz	48000	José Naiani	18000	Manoel Modesta	58000	Pedro
Juventino Ramos	53000	Augusto da Penha	18500	Joaquin Paulino	58000	Avelino
Elysário Paiceco	53000	Jacintino Turtuliano	28000	Bento Adão	58000	Izidor
José Chagas	108000	Geraldo Varejão	28000	E. Moreira	58000	José C.
Antônio Paixão	48000	Nicá Gauzarella	18000	Odorico J.	28000	Eustis
Aníbal Noqueira	48000	Pasquali Gauzarella	18000	Luzi Deffini	28000	Rizzie
Estevam Pompeu	58000	José Barrolo	28000	J. Conceição	28000	J. Conceição
Agripino da Souza	18000	Fernande Bedoni	18000	Juvenal de Almeida	28000	Avelino
Afonso Pereira	38000	Waldomiro Zingura	28000	Petru Augusto	28000	Rodrigo
Te Atayde	108000	José Custodio	18000	Leônio Bertelli	28000	Associação
Candido Gonçalves	38000	José Evani	18000	Gonçalves Marques	28000	Manoel
Antonio Pereira Mendes	25000	Raimundo da Penha	38000	Raymundo Berni	28000	Amadeu
Guilherme Vaz de Oliveira	25000	Emilio Ernesto Lose	18000	Roque C. Macedo	28000	Alvaro
Antonio Elpidio	38000	José Urbano	18000	Jacob Guedes	28000	Henrique
Un desconhecido	28000	José Ventorini	28000	José de Lucia	28000	José G.
Bonifácio Vasques	28000	Antonio Lopes	18000	Pereira Tomaz Villaboa	28000	José G.
Francisco M. Tavares	28000	José Batata	18000	Luz Barreto	28000	José G.
Benedicto Bispo	58000	José Marquez	18000	José B. Baptista	28000	José G.
Theotonio da Cruz Navaga	108000	Manoel da Luz	18000	Carlo Vicente	28000	José G.
Domíngos Filardi	58000	Nello Mascarin	18000	Antonio Guerra	28000	José G.
En Olympia (continuação)		Mastimiano	18000	Baltazar Nogueira	28000	José G.
Assignante irrecconcilevel por		Bosé Rizzo	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
ter apagado.		José Bentó	18000	Vitória Vilas Boas	28000	José G.
Idem	108000	Syriano Carelo	18000	N. N.	28000	José G.
Idem	18000	Dr. Rollenburgh Sampaio	18000	Luz Lavanhex	28000	José G.
Idem	28000	Gatto Antônio	18000	Antônio Pedro de Siqueira	28000	José G.
Idem	58000	Luiz Prudente	28000	Antônio Guedes	28000	José G.
Idem	58000	João Bortolin	38000	Antônio Guerra	28000	José G.
Idem	58000	Victor Modesto	28000	Bento Tomaz Villaboa	28000	José G.
Idem	58000	João Antônio	18000	Antônio Lopes	28000	José G.
Idem	28000	Violório Finete	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	18000	José Canta	18000	Vitória Vilas Boas	28000	José G.
Idem	18000	Fernandino Prodeniato	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Juanin Porto	18000	Bergoncosco	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
José S. Noronha	108000	Luis Moreira	28000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Maria	28000	José Moreira	38000	Antônio Tomaz	28000	José G.
João Rocco	28000	Ladislau Mauricio da Rocha	28000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Assignante irrecconcilevel por		Americo Ignacio	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
ter apagado		João Henrique	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	28000	João Paulo	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	58000	Patrício Nello	28000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	58000	Valentim Mioto	28000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	58000	Emilio Vianini	28000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	58000	Lopes de Fernandes	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Idem	28000	Prudente José Correa	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Os dominativos em Olympia acima publicados foram angariados pelos srs. Camilo Yild e Antonio K. Kassawara.	28000	Luchetta Giacomo	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
BAIRRITO DO LIMÃO — S. Paulo	28000	M. Bada	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Francisco Antonio Frede	58000	J. Martins	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
Francisco Antonio Cubá	28000	B. I.	18000	Antônio Tomaz	28000	José G.
ENGENHEIRO BIODOWSKY		Guirino Lazzarini	28000	Israel de Oliveira Pinto	108000	PAUSSI' — Sorocaba
Moto Altino Greggio	208000	Natal Piccolo	18000	João F. Dias	58000	(Aguardado pelo sr. H. H. e Ka-
S. LUIZ DO MARANHÃO — Brasil	208000	Luiz Aanesani	18000	Julio Bapstista	58000	mimura)
Enoch Lima	108000	Arturio Fierotti	18000	Benedicto Silveira	58000	Dr. P. Melo
Anna Faletto	108000	De Nardi	18000	Augusto Portella	58000	Alexandre Santoro
Bellarmínio Guimarães	58000	Vicente Maradei	18000	Luiz Arribel	58000	Justino da S. Campos
Cyrillo Hoballo	58000	L. P. M.	158000	Sebastião Marques	58000	Antônio Gomes
Auta Nogueira	28000	Francisco R.	28000	Jorge Cury	58000	Felipe Ammar e Filho
Motta Cotrim	28000	P. Antonio	58000	Satin Racy	58000	Elias Simão
Sociedade de Santoras	108000	Amadeu Gonzalez Ferreira	18000	José Fermin Ilhéu	58000	Manoel Caerex
Reymundo Leandro	58000	F. Nogueira	18000	Antônio Lourenço	58000	Francisco Matano
Elias José Tavares	18000	Joaquim Mendes Ramos	58000	D. Olivas	58000	Ernaldo Bonfanti
Angelo Martíni	108000	Arturio Orlolani	18000	Olavio Mendes	58000	Admir Junqueira
Pedro Gabrel	18000	José P. Leite	18000	Salomon Assad	58000	Vasco de Andrade
FAZENDA MORRO EST. Palmeiras	18000	Antonio Pereira	18000	Antônio Fernandes	58000	José Pitaguary
	108000	José Margutti	58000	João Nobrega	58000	Guillermo Duarte de Barros
	18000	V. Badra	18000	Francisco Primo Irão	58000	Thomé
	108000	Armando Cruz	58000	A. Amaral	58000	J. T. Thomé
	28000	D. Machado	28000	Z. W.	58000	Anônimo
	18000	Eugenio Leonci	58000	Antônio Mariano de Castro	28000	Bruno
		Antonio Lazarini	58000	Manoel C. Filho	28000	Narciso
			58000	Said Andrade	28000	Domingo
			58000	Said Andrade	28000	José

國民精神振作の大詔

總領事館への着電
着した電日から撤廢實施される旨を

報によれば今回國民精神の振作(?)に關する大詔が頒發(?)され、近學術人智日^ノに進^リストックフォルム^ノ於ける醫學及^リ理學者へのノーベル賞金授與^シ定案^ノ

に國民精神の振興を依る他はない、宛て明年度に於ける同賞授賞者は、改めずんばゼンチヨウを失墜せん員會から此程市醫科大學のオビ

い、國民は智徳の併進、質實剛健、定の爲一名を指定され度旨申越し忠孝義勇、博愛共存の實を擧げ内強來た
健勤勉業に服し、外一己の利害に偏せず力と公義に盡くし、國家の興亡

來る二十五日から十二月六日迄亞洲民族の繁榮、社會の福音等を計るべ。旨を諭示され次いで一一日に山本總理は内閣訓諭を發し十日會議が開催されるので列席。一方の開國の詔書の如き、文政元年九月廿九日御内閣代表一行の大部は十九日リオガラニテーの開港場にて開港式を行つた。

外帝の開拓の使命をしてゐて、泰西東洋語、成中諸書の發令あり國運の隆昌するを得たが歐洲大戰後人心放逸に流れ且つ外來思潮と相俟つて思想危激にて南大河政争は

題の風あり今震災に際會す宜しく
國民は帝都復興に關する詔書、今次
の大詔を戴體して一層精神を剛健なら
しめ文物の恢復と國力の振興に盡
るよるご折角の陸相の仲裁も物にな
ま

情に對し市民を代表し感謝の辭を述べ北鉄道の第一線白き光芒の賀ベエリオット大使之に答へ藤山會頭設計を裁可した
は感謝決議文を各國大都市々長に電送)朗讀し滿場一致で可決、次い

で市長の主唱で諸國の萬歳が唱へられ其から豫定のプログラムが済んで散會したが當日は午前午後共各國代表者全部出席特に午後の少年少女大會報通り世界の實まで詔はある廿五日バイアへ出發

會の盛況には痛く感激した模様であつた。医學博士里口英世氏は二十一日同ロツク博士エラード研究所のリチャードソン・ミュラー博士と同道リオ・ベニス博士等が同博士等の來伯はバクーしたが、同博士等の來伯はバクーした。

外電開拓事院も撤廢し、撲滅する。黄熱病の在り云ふ所は十七日總領事館着電は戒厳令との同研究所の他の醫學者連と共に外電開拓院に關する制限全部十六後二十五日バイアへ向け出發同地ア州其他に威を逞うする

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

震感受 江越技師 潤木宿 事だま
として棉作地に販振り 金取支
の状態を調査する。は粉小
氣象臺 地震計は 潤木本
基米突と測程さ かの用
越技師連れて立 大出来
る。が、この事は ては震災の際、龍手を引
の模様が書かに ロテリ
大使館宿野田書記 ちやな
の忠告で、大出 うかう
息、令娘一同無 こ獨り
も焼失を免かれ 狂ひした
るので、兩親も ソロで
卸した。 するよ
では震災の際、龍手を引
ンへ出張不^在でけに 駆け
町の事務所で今 よろしく
する際強震に見 てヨーロッパの
にも高層建物の ントで、手を引
らず、窓越に他の 者側にし約
實に名状すべく の経痛で
して倒壊もなくの對
其翌日からは草 きめ、
る。 縣は海岸地帶にたど
の留守宅は家屋 その
船員漁民等日され
使を感激させた 名は、
船員漁民等日され
就て伯國の各方 常海
我大使館へ寄せられ
其表彰揚の極め 田
し力は無いが
涙で慰め
日本少年軍
歳ま
使を感激させた
船員漁民等日され
就て伯國の各方 常海
我大使館へ寄せられ
其表彰揚の極め 田
し力は無いが
涙で慰め
日本少年軍
歳ま

木店主　十コントスの、
坂上の要所に構えて、
立やら山買ひやら保養
用を集めて田舎廻りを
引づかゝった時紫外線
が日頃御自慢の明治な
が來たと見へ遡るカン
ソアが餘計賣れりやあ
水だつたがソロカバナ
よりは總攻撃の一舉に
そもゝの誤り深入り
受けで十二コンドスミ
モエコウの敗戦にふる
しく三コンドスだけ拂
て手を出したジヨウヲ
ヌは日本文の借用證
露談判より通じが想い
てゐる海事エスコイテ
へた債權者連總領事館
であつた、十四五年を
かねこ頭をしかめてゐ
では一向音沙汰がない
手を書けモ談判はヨツ
スは有様だが家族の生命
微塵に破壊され住む
報じ來た

は巴里特電として報道した。エノス市のラ・
ル・ブル作はおしまいにすこしの間、葡萄
の栽培を始めたのである。

S/A. CASA PASTEUR

OPTICA - CIRURGIA

OCULOS - PINCE-NEZ - LORGNONS

民族病氣の癒癥に於ける新葯として
一月十日午後二時迄
より翌十一日午後三時迄
ヨコス澤共同墓地にて
仕候間此段生前既知諸君
申候候也

所
未曾有の
轄耕後
栽培四年
を苗付け
の如くに
霧器殺虫

大石内藏之助 半井桃水

第一百四十七回

『體に左様ご見たものゝ世には假寄の人もある、第一姿が變つて居るので、うつかり物も言掛けられず、夫の足跡を跟て、尙も様子を窺うた末、いよいよ疑ひないを見て、名乗り掛けた次第で御座る』
 「我々同志は明けても暮れても、さもなく心を碎き、何か吉良家の門内まで、入込む事の出来るやうな手を得たいと存じ居るが、イヤも憂を認められたか」
 「私は心堅固、所詮望みは叶ひ申され、然るに昨日着致されたばかりの足下、今日早や吉良家の門を踏み入る。赤道前原に物語る。兩人感歎の聲を合して、興五郎は欣然として、兩相難の顛末を、赤道前原に物語る。兩人感歎の聲を合して、吉良家の士大須賀仕合せとなり、吉良家の士大須賀は、自然懸念を結ばれたのか」
 「全く神や佛の加護、斯うな喜ばしい事は御座らぬ」
 「夫のみならず此のお二姫は、大須賀の口入れをもつて、今は上杉家へ歸つて居られるトの奥方へ、近日奉公致さるゝ筈、さすればトの様子を知るにも、至つて便利と存じ申す」
 「その儀が首尾よく調へば、此の上兩士はますく勇立ち、も同じ事」
 「上杉家へ入込のは、吉良家の事は、袋の物を見るよりも容易う御座る」
 此時二姫は豫て用意の酒肴持出しで、御ゆるりお話をされませう』
 二三日の後興五郎は、上杉家の下宿店を開いた。是は大須賀の口入れにより、おちおちするが上野介奥方に奉公するのを見込んでの事であつ

◆至急入用
熟練の植字一名

伯刺西爾時報社

(日本カナリ)

(多少料理)

(心得有り者)

右本社に於て至急入用に付思望者

高給を仕拂ひ、且つ勉學の便を計

伯刺西爾時報社

(日本カナリ)

右本社に於て至急入用に付思望者